

参 考 文 献

- | | |
|---|---|
| <p>中央气象台 : 中央气象台月報</p> <p>中央气象台 : 气象雜纂</p> <p>中央气象台 (气象庁) : 中央气象台日報 (气象庁日報, 气象庁公報)</p> <p>中央气象台 (气象庁) : 地上气象観測法, 地震・火山・高層その他各種指針, 実施要領</p> <p>中央气象台 (气象庁) : 測候時報</p> <p>中央气象台測候研究会 : 天气と氣候</p> <p>函館海洋气象台 (1972) : 函館海洋气象台沿革誌</p> <p>北海道 (1969) : 開拓の群像</p> <p>北海道庁 (1891~1928) : 北海道氣候一斑</p> <p>北海道庁 (1904~1938) : 北海道气象月報</p> <p>北海道庁 (1894~1899) : 北海道气象報文 各測候所の部, 全10冊</p> <p>北海道庁 (1924) : 北海道職員録</p> <p>北海道庁 (1969~) : 新北海道史 (続刊中)</p> <p>北海道庁 (1936, 37) : 新撰北海道史</p> <p>北海道電気通信局編(1964) : 北海道の電信電話史</p> <p>開拓使 (1877, 78) : 札幌農学第1, 第2年報</p> <p>開拓使編 (1884) : 北海道志</p> <p>气象庁 (1970~1974) : 百年史編纂ニュース</p> <p>气象庁 : 气象庁技術報告</p> <p>气象庁 (1975) : 气象百年史, 同資料編</p> <p>气象庁 (1965~1970) : 气象官署履歴資料 第1~3号</p> | <p>气象庁編 : 气象法規</p> <p>日本气象学会 : 气象集誌</p> <p>日本气象学会 : 天气</p> <p>逢坂信吾 (1967) : 荒井郁之助伝</p> <p>札幌中央電信局編 (1970) : 札幌中電百年</p> <p>札幌中央放送局 (1948) : 昔話北海道</p> <p>札幌管区气象台 : 北海道の气象</p> <p>札幌管区气象台 : 異常气象報告</p> <p>札幌管区气象台 : 官署履歴簿</p> <p>札幌管区气象台 : 札幌通信</p> <p>札幌管区气象台 (1953) : 札幌管区气象台業務一覽</p> <p>札幌管区内各官署 : 气象業務月報 (气象業務月例報告)</p> <p>札幌市 (1958) : 札幌市史</p> <p>札幌測候所 (管区气象台) : 観測野帳, 各種観測原簿, 観測表</p> <p style="text-align: center;">そのほか, 主に報告・調査・研究をまとめたものとして,</p> <p>中央气象台 (气象庁) : 中央气象台彙報, 研究時報, 驗震時報, 産業气象調査報告, 航空气象報告, 秘密气象報告, 气象庁海洋報告</p> <p>札幌管区气象台 : 北部气象雜纂, 北海道气象要報, 技術時報, 北部管区職員論文集, 北部气象研究会誌, 応用气象</p> <p>函館海洋气象台 : 函館海洋气象台要報</p> <p>学会誌 : 農業气象, 雪氷</p> |
|---|---|

あ と が き

増沢謙太郎管区台長（当時）の指示によって、札幌測候所創立以来 100 年の事業沿革をまとめるため、札幌管区気象台創立百年記念行事推進委員会の一部会として、百年史編集部会が発足したのは、昨年の春、4 月も半ばすぎであった。

部会構成

委 員	申崎利兵衛	（概説・千島・労働組合）
幹 事	大黒 実	（高層・航空・産研）
専門委員	今井 俊男	（気象観測）
	大橋 健三	（予報・海氷・災害）
	佐藤 義彰	（創立以前・組織・人事・ 位置財産・会計）
	下田 正一	（調査研究・刊行・写真）
	武藤 政義	（通信）

そのほかの執筆者

石黒 長蔵	（地震・火山・災害）
榎波 忠	（航空）
七沢 謙	（レーダー）
藤井 義郎	（測器検定）

早速、資料の所在を模索する一方、打ち合わせを重ね、編集方針、内容構成、作業計画日程などの大綱を決め、執筆分担に従って、各担当者が資料収集と草稿の執筆に取りかかりだしたのは、もう 7 月に近いころであった。年が明けてから、全部の原稿が各執筆者個人の手を離れ、幹事の手元にそろい、以後は大黒と申崎で全般にわたり調整、点検、訂正、補筆を行い、2 月末、ようやく脱稿にこぎつけた。

当初から「測候時報」に掲載して、本年 9 月の創立記念式典に間に合わせる計画であったので、脱稿期日と容量には厳しい制約があった。勢い、内容は札幌測候所、札幌管区気象台の沿革のみに止める建前であったが、結果は必ずしもそういう訳にもいかなかった。樺太の関係は全く除外したが、引き継ぎ官署の無い産業気象研究所

と千島の業務については、この際、記録しておくことにした。

部外資料の収集は不十分であったし、挿話、裏話的なものまでも探す余裕も盛り込む余地もなかったばかりか、折角の執筆者の記述を割愛、圧縮したところも多い。

各部門の均衡、精粗を調整するほどの期間は残されてなかった。記述の色合いも区々で、台長の意図に沿う結果とは遠いものとなった。内容の不備、誤りも少なくないであろうから、後日、補筆、改訂を要することも予想される。ご叱正とご寛容をお願いしたい。

資料の散逸と焼却に災いされながらも、各自、繁忙な仕事を抱え、短期間にここまで仕上げられたのは、現時点での最高のメンバーをそろえることができたことはもちろん、増沢台長以下各部課長の深い理解と台内、管区内外の多くの職員の協力と激励に負うところが大きい。また、先輩各位からの貴重な資料、情報のご提供も多かった。これらの方々のご芳名を一々ここにひれきできないが、部会、執筆者に代わって厚くお礼を申し上げ、謝辞としたい。また、この百年史刊行に対し、当初から全面的なご協力をいただいた本庁図書資料管理室に深謝いたします。

昭和51年 3 月 脱稿を終えて

札幌気象百年史編集部会
部会長 申崎利兵衛

なお、部会構成メンバーは昭和51年 4 月の人事異動期を経てつぎのとおり変更となった。

委 員	手塚 慶二
幹 事	大黒 実
専門委員	今井 俊男、大橋 健三 武藤 政義、佐藤 義彰

札幌気象百年史

昭和51年9月1日発行

編集行 札幌管区気象台
札幌市中央区北2条西18丁目2

印刷所 内外印刷株式会社
東京都中央区八丁堀2丁目22-8

測候時報 第34巻 第3-5号別刷